
箱庭の転生者

ハレー彗星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

箱庭の転生者

【Zコード】

Z5270BA

【作者名】

ハレー彗星

【あらすじ】

ここにちは、斎藤竜一です。

俺は死んだみたいだ。

いや、ほんと、マジで！！

神つて言つてる爺さんが土下座をしている・・・転生させてくれるって言つんで転生した。めだかボックスに。

プロローグ（前書き）

この回は主人公と神との会話です。

プロローグ

「んにちは、朝霧直人です。

俺は死んだんだ。

いや、マジで！…そんで創造神（笑笑）が土下座をしている・・・

・

「どーすつやいいんですか・・・・・・」

俺は上を見上げている・・・・・・。真っ白な空間だ。

「「」あんなさい」「」あんなさい・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「ひむせえ、黙れ・・・・・・」

「・・・・・・・・はい」

「じゃあ、聞きたい」とがある

「なんじ・・・・・・・何ですか？」

「俺は死んだはずだろ？何で此処に困るの？」

「おおつー死んでおるときの記憶覚えてこるのか…・なり、話が早
い」

「お主の死んだのはわしのせごじや。じやから転生せよつかと・
・・・・・」

「転生?」

「セウジヤ、転生」

「どーに、転生できるんだ?」

「漫画の世界・アニメに行けるぞ」

「あと、チート能力もつけるんじゃが・・・・・・」

「じゃあ、死ぬ前に見た“めだかボックス”で」

「了解じゃ、めだかボックスと・・・・・・」

「能力を決めてくれ」

「分かつた、じゃあ、身体能力を身体能力を黒神めだかの20倍にして、

黒神くじらの知能の20倍にしてくれ。

それと、俺の異常? アブノーマル? と過負荷?マイナス? をくれ。」

「ふむ! 良からうーして異常と過負荷のはは?」

「異常は無効有効? ライフプラス? で

異常・過負荷が全て無効になり尚且つ、その能力を使えるようになる。」

「チートじやのう~」

「良いんだろ？？」

そして、過負荷は痛領域？ペイン・フィールド？は半径50m以内の人間に全ての痛みを「与える。あ、心の痛みとか痛みがつくもののことね。」

「まだ、容量あるんじゃが・・・・。」

「マジか・・・・じゃあ、出会いで主人公たちに会えるのはどうだ？」

「いいぞい、あと、二つじゃが能力」

「じゃあ、高性能のノートパソコンで壊れないのくれ
あとは、必要だと思った知識を忘れないようにしてくれば。」

「了解じゃーじゃあ来世で頑張るんじゃーーー。」

「ねーーー。」

シヨンーーー。

プロローグ（後書き）

どうもあつがとひるぎやこました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5270ba/>

箱庭の転生者

2012年1月14日16時45分発行